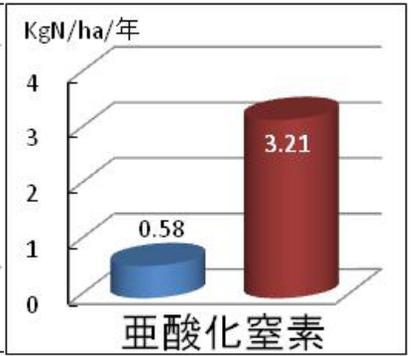
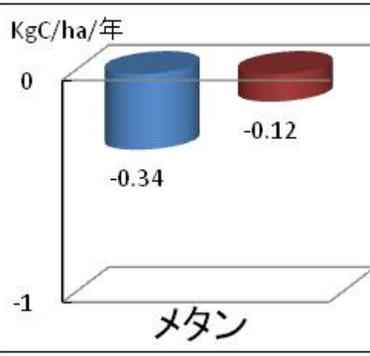
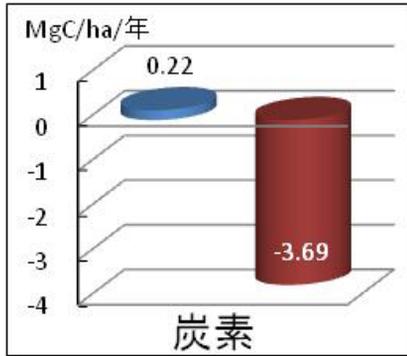




草地における温室効果ガス発生量

○ 化肥区と堆肥区の温室効果ガスの収支は？

放出
↑
↓
吸収



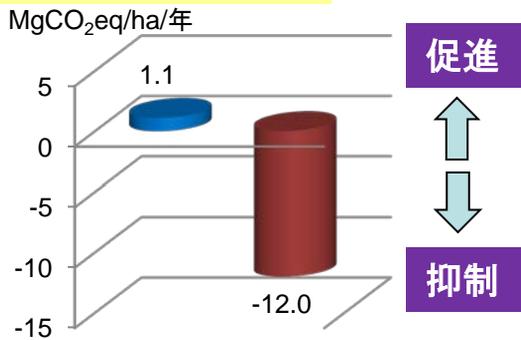
■ 化肥区 ■ 堆肥区

堆肥区は化肥区より、**亜酸化窒素放出量が多いものの、炭素の蓄積量が多い。**
メタン吸収量は両区とも少ない。



○ 地球温暖化に対する評価は？

CH₄, N₂O採取風景



地球温暖化指数 (GWP)

促進

抑制

○ 化肥区は促進・抑制に与える影響が小さい。

○ 堆肥区は維持管理段階では抑制する。

○ 亜酸化窒素放出量の低減は可能か？



1)スラリー+硝酸抑制剤はスラリー標準施肥比。
2)窒素施肥配分を早春:夏=5:1。標準施肥は2:1

窒素施肥法の改良により、亜酸化窒素放出量が低減する可能性があります。

